

平成30年度 特別研究推進費実績報告書

2019年4月20日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 基盤教育センター・教授

(氏名) 眞鍋和博

平成30年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、次のとおり報告します。

研究課題名	SDGsの理解促進と学生の学修動機に与える影響					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究は、地球環境・社会の持続性担保に対する新たな世界基準である『SDGs』について、本学学生・職員への理解を促しつつ、それが学修や職務に対する動機にどのように影響するのかを明らかにすることを目的とした。それらを確認するために「キャンパスSDGs」というプロジェクトを立ち上げた。これは、学内に存在するSDGsに資する取り組みをチームで取材し、内容をまとめて本学Webサイトにアップするという取り組みである。教職員約30名の参加を見ることができ、その取り組みの事前事後での参加者へのアンケートを通じて影響を調べた。</p> <p>プロジェクトは、まず6月～7月にかけてSDGsに関する知識を学ぶ講座やゲーム形式で体験する場を設けた。その後8月～9月にかけてチームに分かれて取材、原稿執筆活動を行い、10月に中間発表会とWebサイトへのアップを行った。11月からはチームを組み替えて2回目の取材等の活動を展開し、2月末に最終発表会を行った。結果的に30件の取り組みをWebサイトに掲載することができた。</p> <p>参加者はSDGsに関する学修や実践を通じて、SDGsに対する認識が深まっただけでなく、普段生活する上でも地球環境のことを意識するようになったという行動変容がうかがえる結果となった。以上のように「キャンパスSDGs」は参加者のSDGsや自身の生活への意識を変容させることに効果があるのではないかと考えることができる。しかし、ごく限られた人数への取り組みであったことや、学修や職務に対する変容までは確認することはできなかった。</p> <p>また、先進事例調査として、金沢工業大学、コマネー株式会社、韓国統営市セジャトラセンターの取材を行った。いずれも、先駆的な取り組みを展開しており、多くの視座を獲得することができたと考える。</p>					
事項	合計	使用内訳 (単位：千円)				
		備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
交付決定額	690		10	40	450	190
支出金額	633		8	71	360	194
執行残額	57		2	-31	90	-4
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		
	マネジメント研究科	松永裕己		調査設計・分析、先進地調査		
	経済学部	牛房義明		調査設計・分析、先進地調査		
	国際環境工学部	山崎進		調査設計・分析、ひびきの活動支援		
	基盤教育センター(ひびきの)	辻井洋行		調査設計・分析、ひびきの活動支援		